↓1面の続きです

ごみ有料化1年目は減量目標達成
今後も協力しあってごみを減らしましょう

家庭ごみの有料化後1年目は目標を達成することができました。この1年ごみの出し方にどんな変化があったのでしょうか。そしてこの目標を維持していくには市も努力し、市民の皆さんにも協力していただくことが必要です。

毎日ごみとかかわっている方にお話を伺い、福生のごみの今とこれからについて考えてみたいと思います。

共同住宅の管理責任者

▶正田清さん（武蔵野台在住）

ごみの有料化が実施されて、1年になりました。

有料化される前は一部の方が心無いゴミの出し方をされていました。しかし、有料化されてからはゴミの出し方がきれいになり、ゴミの量も少なくなりました。本当に居住者の皆さんのご協力には感謝しています。

あえて注文するとすれば、市で紙パックや白いトレー、発泡スチロールの回収もしていただけたらと思います。これからも、居住者の皆さんと一緒にコンパクトなゴミ出しと、ルールを守って快適な暮らしをしていきたいと思います。

廃棄物減量監視員

市が委託し、巡回・指導を行っています。毎日ごみをチェックしている監視員の長井さんに現在の状況を聞いてみました。

▶福生市廃棄物減量監視員 長井淳子さん

有料化が始まって一年。昨年と比べてごみ・資源の出し方はずいぶん良くなりました。市民の皆さんのご理解とご協力の成果だと思います。

特に戸別収集ではほとんどのご家庭でごみ・資源の分別がすでに定着している感じを受けます。資源の日など、思わず記念写真を撮りたくなるほど（!?）きれいに出されているお宅もあります。

それに比べて共同住宅の場合はごみの責任の所在が明らかでないせいか、一部ではありますが、まだ問題多しの所も残念ながらあります。最近は共同住宅でも誰がごみを出したのかわかるように集積所が工夫されている所も出てきました。

ところで最後におトクな情報を。ごみの中に結構混じっているのがプラスチックボトルや食品トレー、紙パック。これらを徹底して分別すればごみの量も半減するかも（!）

今後も巡回・指導だけでなく、ごみ減量に役立つ情報も提供していければと思っています。

こんなふうにきれいに出してくれているところはいいのですが…

これでは困ります

ご参加ください

下表の日程で、ごみ有料化実施後の報告と、ごみ・資源の分別についての説明会を開催します。

ご都合の良い日にご参加ください。

日時	場所
7月1日(火)午後7時	福生第四小学校体育館
7月3日(木)午後7時	福生第三小学校体育館
7月8日(火)午後7時	福生第五小学校体育館

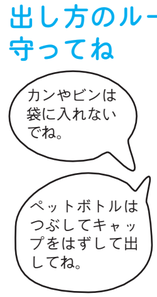
※スリッパ・上履きなどをご持参ください。

ごみ有料化実施後の報告 ごみ・資源の分別の説明会

出し方のルール守ってね

収集委託業者

▲市の収集委託業者で働く荒木浩三さん



有料化後資源は倍以上になりました。古布は引き取ってもらえなくなるので、雨の日など濡れないようにしていただきたいです。雑がみは紙の袋に入れて出してくださいね。雑がみと雑誌を一緒にしてもいいのですが、新聞は分けて束ねてください。

まだまだ分別を徹底していく必要がありそうです。また、買うときに少しでもごみが減らせるような買い方を心がけていきたいですね。

分別のしかたなど気軽に聞いてくださいね

まだまだ減ります、減らしましょう「ごみをなるべく出さないために」3つのR 心がけて

一人一人がごみを減らそうとする意識を持ち、行動することからすべて始まります。まずはできることから始めてみましょう

リデュースReduce ごみを出さない

▽買い物に行く時は、マイバッグを持って行きましょう

▽過剰包装はしないよう、されないようにしましょう

▽洗剤、シャンプーなどは詰め替えのものを買いましょう（容器の分30～60gが減らせます。）

▽割り箸・紙コップなど使い捨て品を使わないようにしましょう

リユースReuse 再利用する

▽修理したり、別な用途を考えたりして長く使いましょう

▽不要になったものでまだ使えるものは、ほしい人を探しましょう（フリーマーケットやバザーなどに参加を）

リサイクルRecycle 再利用する

▽資源として生かせるように正しく分別して排出しましょう

▽再生品を購入するように心がけましょう

▽生ごみ処理機などを利用し、量を減らしたり、たい肥化しましょう。

目標は平成13年度の排出量のごみ10%減、資源10%増を保つことでは1人1日あたりどのくらい？

燃やせるごみは1人1日56・4g以上減らすことで達成

卵Mサイズ1個が約50g、ごはんお茶碗1杯が165g。買いすぎ、作りすぎをなくしましょう。

捨てるときの水切りもしっかりと。

燃やせるごみは1人1日8・6g以上減らすことで達成

乳酸飲料の容器などは資源としてペットボトル・プラスチックボトルの日に出せます。分別を徹底して、少しでもごみにならない商品を買うよう心がけて。

資源ごみは1人1日18・2g以上増やすことで達成

お菓子の箱や洋服のタグなど、小さい紙を燃やせるごみに捨てていませんか。小さな紙でも袋に入れてまとめれば雑がみとして出せます。

この写真の量（小さい箱2つとティーバッグの袋1枚）で目標は達成できます。

8月から資源として硬質プラスチック類収集開始！

現在、燃やせないごみとして有料で排出していただいているバケツ、洗面器、植木鉢、ザル、かご、ポリタンクなどの硬質プラスチック製容器を資源として無料で排出できるようになります。プラスチックボトル・ビン・ペットボトルの日に追加して収集します。透明または半透明の袋（色がついていても中身が確認できるものなら可）で出してください。（事業所は、40ℓ袋相当で1袋まで）

収集回数 隔週

品目 硬質プラスチック製容器（おおむね10㎝から50㎝未満）バケツ、洗面器、植木鉢、ザル、カゴ、ポリタンク、収納ケース（原型のまま出す。細かく破砕しない）

問合せ 環境課清掃係

トラックスケールの利用7～9月はできません

落雷の危険性があるため、リサイクルセンターでは日曜日のトラックスケール（車ごとの計量）は7月から9月まで利用できません。体重計がありますので小分けにして計量するか、資源回収業者に計ってもらってください。

搬入の際は、事前に清掃係まで連絡をお願いします。

なお、土曜日、祝日は搬入できません。

問合せ 環境課清掃係

リサイクル推進店の変更

大友テレビサービス（牛浜87番地）をリサイクル推進店から削除します。拠点回収品目→乾電池・蛍光管・水銀体温計

問合せ 環境課清掃係

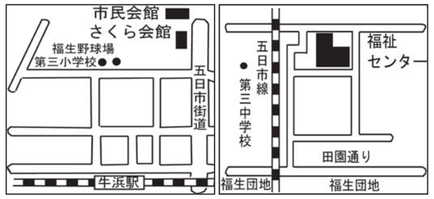
「いっしょに話そう、まちづくりフォーラム」
③ボランティアの会場が変更されました

①子育て支援では、子育て体験談などからのいろいろなお話しを②コミュニティでは、町会、青少年、小地域、消防団の活動報告を③ボランティアでは、各団体がポスターにより活動報告します。ポスターの展示がしやすいよう会場を市民会館展示室に変更します。

市内在住の有識者をコーディネーターに据え、テーマごとに一般参加者の方も、気軽に話せる雰囲気の会です。いっしょに身近な問題を話し合いませんか。ぜひ、お越しください。

申込み 会場、資料などの準備のため電話、ファクシミリ（様式は問いませんが、住所、氏名、年齢、電話番号を明記）で企画調整課企画調整担当☎551・1511FAX553・4451へ。

会場案内図



いっしょに話そう、まちづくりフォーラム日程表

①子育て支援

日時 7月6日(日)午後2時～4時

場所 福祉センター学習・集会室
※保育室あり（事前申込み必要）

コーディネーター
山下真一氏（会社役員）
村山利夫氏（会社役員）
小林和人氏（会社役員）
郡司眞由美氏（前一中PTA会長）
黒川祥子氏（ルポライター）

②コミュニティ

日時 7月12日(土)午後3時～5時

場所 さくら会館3階ホール

コーディネーター
田村誠一郎氏（会社役員）

話題提供者（パネラー）
乙津豊彦氏（前町会長）
北澤　充氏（青少年問題地区委員会会長）
高橋洋子氏（小地域活動）
小林尚司氏（前消防団長）

③ボランティア

日時 7月13日(日)午後3時～5時

場所 市民会館展示室

コーディネーター
長谷川貞夫氏（大学教授）
小林勲生氏（地域ボランティア）

市内のボランティア団体がポスターセッションで参加します。

※話題提供者等は変更になることがあります。

まちの話題

福生から世界にはばたけ！

ブレザーのバッジは交流した留学生と交換したもの

熊川にお住まいの加園瑠美さん（啓明学園高校2年）は、国際ロータリークラブの青少年交換プログラムの派遣生として、ことし秋から1年間インドネシアに留学します。昨年派遣生に選ばれてから、1年間、他の派遣生や、このプログラムで日本に来ている留学生との交流を通じ、研修をしてきました。

インドネシアでは複数の家庭にホームステイをします。外国の文化を知り、日本のことを伝え、国と国のかけはしとなれるよう、国際親善大使としての役割を果たします。

帰国後は次の派遣生を育てるローテックス（帰国したOB）として活動します。

学校ではインターアクトという奉仕活動のクラブで、老人ホームの慰問や、清掃活動などをしています。

加園家は7年間、海外からの留学生をホストファミリーとして受け入れてきました。そんな環境の中で瑠美さんは福生市の青少年海外派遣にも参加しました。

「海外派遣に行って、情報交換とコミュニケーションの大切さを学びました。外国の文化に肌で触れて、リアルに体験して、それを自分のものにすることが何よりも大切だと思うんです。積極的に自分が何かしたい、役に立ちたいと思います。人の役に立てることはすばらしいことだと思うんですよ。」と瑠美さん。今後の活躍が楽しみです。

国民年金だより

国民年金保険料の免除制度をご存じですか

将来、老齢基礎年金を受けるため、また、万が一のときに障害基礎年金や遺族基礎年金を受けるためには、保険料をキチンと納めていなければなりません。

しかし、長い人生の間には、経済的に保険料を納めることが困難な場合もあります。そんなとき、年金を受ける権利を守ってくれるのが保険料の免除制度です。

免除には、保険料の全額（13,300円）を免除する全額免除と保険料の半額（6,650円）を免除する半額免除があります。それぞれ、市役所年金係に申請して承認を受けることが必要です。承認されると、その期間は年金の受給資格期間に算入されます。

ただし、半額免除を受けた期間については、半額の保険料を納付しない場合は未納期間として取り扱われますので、ご注意ください。

なお、老齢基礎年金額の計算の際には、全額免除された期間は、保険料を全額納めた場合の3分の1に、半額免除された期間は、保険料を全額納めた場合の3分の2となります。

また、全額、半額免除を受けた期間については、10年以内であれば、さかのぼって納めることができます。

保険料の納付が困難なときはそのままにせず、年金係までご相談ください。

問合せ 保険年金課年金係

国民年金基金相談コーナー開設

平成3年5月に設立された「国民年金基金制度」について、基金の担当者が個別に相談に応じますので、お気軽にご相談ください。

日時 7月10日(木)午前10時～午後4時 **場所** 商工会館203号室

問合せ 東京都国民年金基金 ☎0120・65・4192

国民健康保険だより

国民健康保険被保険者証は大切に

被保険者証は、皆さんが医療機関で受診するとき、被保険者であることを証明する大切なものです。保管や持ち運びには、十分注意しましょう。万が一、戸外での紛失や盗難にあったりしたときは、すぐに最寄りの交番に届け出てください。紛失などにより、被保険者証の再交付を受けるときは、認印と身分証明書（運転免許証など）をお持ちください。

今年も「海の家」を開設

東京都国民健康保険団体連合会が開設。

開設期間 7月10日(木)～8月25日(月)の毎日 **開設時間** 午前9時～午後5時

場所
①江の島・東浜海岸「人魚やす」
▽小田急線「片瀬江ノ島駅」下車徒歩5分
▽江ノ電「江ノ島駅」下車徒歩7分
▽湘南モノレール「湘南江ノ島駅」下車徒歩8分
②鎌倉・由比ヶ浜海岸「東亭」
▽江ノ電「由比ヶ浜駅」下車徒歩5分
▽JR「鎌倉駅」からバス・藤沢駅行「海岸通り」下車徒歩3分

※海の家に駐車場はありません。また、団体での利用はできません。

無料利用券の配布・問合せ 保険年金課保険係